

# まんさく

第314号

社会福祉法人 光寿会  
まんさく編集委員会  
和賀郡西和賀町湯本30-76-1  
TEL 0197-84-2526  
題字 元理事長 太田 祖 電



信頼してきた背中に願いを込めて…『苗植えしました』～6月15日～

光寿苑の苑庭前の花壇。苗植えの人手不足の状況で、お年寄りが立ち上がって下さいました(^^)

## 314号『まんさく』もくじ

☆2頁★

\*「共生の場」へようこそ♪  
[新入居者のご紹介]

☆3頁★

\*災害を捉える

☆4頁★

\*地域密着型事業

☆5頁★

\*「今生より往く」 \*中学生の職場体験  
\*寄贈・面会・外出等

☆6頁★

\*「光寿会の日々」(4コマ漫画)  
\*「自然法爾」(お寺さんのお話) \*「おわりに」

光寿会では、事務系・介護系・調理系等の職員を募集中です♪

# 『共生の場』へようこそ♪

【光寿苑の新しいお仲間のご紹介となります】



高橋 キヌさん  
\*西和賀町



吉田 隆市さん  
\*西和賀町



高橋 逸子さん  
\*西和賀町



佐々木 正夫さん  
\*西和賀町

## 職員募集♪

介護職員、調理職員、事務職員も探しております。

また、短時間ボランティア〔有償〕という形でも嬉しいです。

一度、ぜひ、お問い合わせ下さい。

【代表 0197-84-2526】



菅原 ユリさん  
\*西和賀町

# 想...

## 災害を捉える 石川県七尾市から発信⑦

### 『能登から被災地だより⑦』竹原了珠 氏



能登半島地震から1年半…。竹原さんの投稿も7回目となります。毎回、竹原さんの記事にうならされ、ハッとさせられて、毎月が待ち遠しくなっている私です。

被災者に提供されている仮設住宅は、居住期間は2年間と言われているようですが、今は3年に延長されています。一方で、転居先の災害復興公営住宅(計画中)は家賃が請求される事になります。仮設住宅入居者の多くは、経済不安を抱える高齢者です。また、不便な場所に建設されるだろうという憶測が広がり、病院は統廃合が進み、廃業する店の情報も聞こえてきます。いつか自家用者に乗れなくなる事を想像すると、不便な公営住宅に引越す事に躊躇しています。

今日は、こういう状況にある仮設住宅の集会所に、炊き出しの手伝いに行っていました。

いくつかの集会所では、震災前の能登の習慣になかったお抹茶や珈琲豆から淹れたコーヒーがとて喜ばれています。どうして震災後にお抹茶を楽しおようになったのか?それは、名古屋から頻繁に来訪されたボランティアが、お茶の名産地である愛知県西尾の美味しいお茶を使って、あちこちの避難所でお茶を振る舞って続けてくれたから。能登でもインスタントコ

ーヒーは飲み習慣があったけれど、豆のコーヒーなんて買えない地域だったし、本物のコーヒーの味なんて皆知らなかつた。でも、ボランティアが丁寧に淹れてくれた本物のコーヒーにお年寄りも開眼したのです。今日も、美味しい何杯もお代わりされました。被災地は失うばかりではなくて、新しい楽しみに出会う場になっています。

十数軒の事を思い出します。

2011年12月、名古屋の仲間たちと一緒に、福島県の子どもたちを保養にお招きした時の事です。私は受入れ施設となった名古屋別の院の厨房に一週間入り浸り、毎日の食事当番の衛生指導や調理補助、参加者の体調管理にあたっていました(あまりに鬼気迫る衛生指導にスタッフの多くが苦笑いしていました)。

ある日、数名のお母さんや子どもたちから、

「納豆は朝食メニューにあるでしょうか?」

との事。お分かりましたよ、と、翌朝には全員分の納豆を配膳しま

した。朝食後、あるお母さんから、「大変申し訳ないのですが、白菜のお漬物があれば大変嬉しいです。」との事。

その翌朝、刻んだ白菜の漬物の小鉢と、カップ入り納豆が配膳されているのを前に、若いお母さんたちはニッコリ微笑んで、穏やかな空気が広間に広がっていたのです。

福島県は納豆消費量全国一。白菜を納豆に混ぜて食べる習慣があると、後で知りました。

コーヒーやお抹茶、自菜の漬け物入りの納豆。いずれもやさやかな幸せです。このささやかな幸せを、出会った者同士が分かち合えた事の喜びを、ほんの少しずつでも積み上げていく事。それは、将来を見通せない被災者にとって、とても大切な事のように思っています。



今月の登録者の方々  
17名様です♪

小規模多機能ホーム「ひなたぼっこ」  
住宅型有料老人ホーム「湖畔の宿」

西和賀ですら真夏日観測！…「ひなたぼっこの日常」



【上2枚】匠の技！ミズ（山菜）の皮むき  
【中央】お手本の消火訓練！  
【下2枚】丸環（花巻）にわざわざソフトクリ  
ームを食べに来た昼下がりのマダムたち♡



# 第124回

124回目は、『光寿苑盆踊り』のお知らせです。コロナ禍以降、入居者とご家族でのアットホームな会となります♪

# 元気です！家族会♪



### 【期 日】

令和7年8月5日(火)

### 【時 間】

18時～19時15分

[開場 17時30分]

### 【場 所】

光寿苑苑庭〔玄関前～駐車場〕

### 【対 象】

光寿苑家族会

高校生ボランティア

## 中学2年生の職場体験

【令和7年7月8日～9日】

中学2年生の多感といえる時期に、様々な職業に触れる貴重な授業が毎年行われています。

少人数となっている現在の中学生ではありますが、そんな中、高橋大和さんが来てくれました！

緊張のご様子でしたが、大和さんのほっこりとしたお人柄に、その名のように場が和みました(^\_^)



おかげさまでした

★光寿苑 ☆ひなたたぼっこ、湖畔の宿

### 寄贈

- ★ 匿名希望 様 [西和賀町]
- ☆ 高橋 ちづ子 様 [下 前]
- ☆ 山本 ミヤ 様 [湯 川]
- ☆ 石川 彰 様 [盛岡市]
- ☆ 高橋 智也 様 [埼玉県]



### 面会・外泊

- 【6月1日～30日】
- 【対面面会】
- ★ 延べ68名(対象入居者27名)
- ☆ 延べ26名(対象入居者6名)
- 【自宅外出・外泊】
- ★ 3人(外出)、☆延べ2人(外泊)

### 来所

- 【6月7日、28日 機能訓練ボランティア】
- ★ 伊藤敦史 先生 [秋田県]
- 【7月12日 福祉事業所との意見交換会】
- ★ 西和賀さわうち病院 … 医院長他4名
- 【7月8～9日 中学生職場体験】
- ★ 沢内中学校2年生 … 1名
- 【6月7日 畑堀り】
- ☆ 菊地雄輔 様 [上野々]
- 【6月20日 防災訓練立会】
- ☆ 西和賀消防署 様 … 3名

光寿会へのご支援



イラスト：1000

丁さんが住み慣れていた(?)であろう光寿苑に戻ってきて、「食欲」も戻ってきたという人間の生命力の不思議。五感と気持ちに馴染むものは、最高のケアを生み出す可能性を秘めている。馴染みある声もまた、丁さんにとっての「最後の日まで私として生きる」を支えていた。

# 子供のころ見た 敗残兵の哀しみ

## 夢佛房

戦後、「ナトコ映画」というものがやってきて、村の小学校の講堂で映画を上映した。

この映画。アメリカが戦

意昂揚のために作った戦場の映画を、GHQ

が民主主義や平和の価値を広める手段として、

戦後、日本の占領政策で再利用したものだ。

たという。映し出される、太平洋の戦場で迷

げ惑う日本兵士の姿は、強烈な戦争体験を持

たない山村の子供だった私に、戦争は悲惨な

ものだという思いを植え付けた。

今なお、ウクライナで、また中東で戦争が

続く。悲惨さをオブラートに包んで流される

### 第13回 丸田善明

#### 自然法爾「じねんほうに」

テレビの戦場画面を観ながら、私は子供の頃、ナトコ映画で観た戦地を敗走する兵士の哀しみを思い起こし、一日も早い終戦の到来を願って続けているのである。

「ナトコ映画」を通して知ったアメリカ人の生活スタイルは、現代日本のモデルになったが、映画によって植え付けられた「非戦感情」もまた、戦後日本の精神になった。

戦後、憲法九条を愛えようという画策が繰り返されたが、国民の多くが平和主義を捨てたか

ったのは、昔、村の学校の講堂で観た戦場シーンを今も忘れないでいるからだろうか。

今年もまた、敗戦の夏がやってくる...

### おわりに

他人様に原稿依頼をし、それを拝読しながら清書作業をしてきた広報紙「まんさく」の歴史。  
 「添削は任せます...」

と言われ、足したり引いたり、限りある紙面の枠にはまるように書き続けてきた。ピッタリ枠に当てはめるために、文章の一部をカットしたり、言い換える事もある。編集の意味では、それも一つのやり方であり、間違いではない。

けれども、作者にとっては、大事な一行が、思いを込めた表現が編集の手によって添削されるのは悲しいことではないか。正しい言葉や表現も大事だが、思いをのせた表現の深さを軽視すべからずだ。

↑こちらの文章、一行多いのは、右記の理由。